



かわら版8年半の歴史



墨一色刷りから
カラー印刷へ



給水に行列…



エサちょ~だい!



成人式



ふるさとまつり



ヒルクライムレース



清掃活動

①創刊号～第4号 手作業からのスタート

市民記者が、企画・取材・編集から、市役所の印刷機での印刷、行政区ごとの仕分け作業までを行い、全戸配布した。

②第8～13号 「子育て奮闘中」シリーズ

現代の子育て問題やママたちの考え方を知るべく、子育て奮闘中シリーズを開始。事件・事故が多く、子どもだけで外で遊ばせられない環境、学力重視の教育や暮らし方全体の変化など、ママたちの抱える戸惑いや悩みなどについて考えさせられた。

③第19～21号 市内3高校による各校の記事を掲載

市内にある3高校の生徒に各校独自の記事を作成してもらった。生徒の自主的な活動を3号にわたって掲載。高校生目線の一味違った記事となった。

④第23号・第25号 震災から広がる「市民力」の輪

東日本大震災での市民同士の助け合いや被災地への支援ボランティア活動を紹介。いろいろな人がいろんなところで支援しているのを改めて気付かせてくれた。給水には、遠くの県からも応援に駆け付けてくれ、励まされた。

⑤第27～36号 「矢板の希望の星」シリーズ

市内では後継者不足で苦慮していると聞いて、現在活躍している若い後継者を紹介。第32号では、当時の処分場問題や風評被害の不安を抱えながら、「今、自分にできることを精一杯頑張る」と話していた酪農家の和気さん。あれから5年経った今、どうしているだろうか。

⑥第31～40号 「子育て環境日本一を目指す 私の提言」シリーズ

子育てをしている年代の方からの意見を聞くコーナー。子育ての実態や問題点を話してもらった。

⑦第37～52号 「岡目八目」シリーズ

矢板市外の人から矢板について意見を聞くコーナー。「岡目八目」は囲碁からの語で、碁を脇から見ていると、実際に打っている人より八目先までの手を見越すことができる、ということから名付けた。

⑧第39号 成人式

若い世代の今の気持ちや環境について、率直に話してもらえてよかった。

⑨第41号 軽トラ市

軽トラ市で「恋するフォーチュンクッキー」を踊る方々にインタビュー。着ぐるみの人、女装した男性、家族連れで子どもを肩車して踊る人など、みんな張り切って踊っていた。

⑩第43号 矢板の夏2014

(ふるさとまつり)どしゃぶりの雨で、ふるさとまつりがあるのか不安だったが、「ジバニャン」との握手と写真撮影会は親子連れで大にぎわい。参加者と一緒に私も盛り上がった。

(ヒルクライムレース)出場予定の選手にインタビューを申し込んだとき、練習で疲れているにもかかわらず快く引き受けてくれたことに感激した。

⑪第46号 乙畑地区・生き物調査への取り組み

世代間交流と地域活性化につなげようと奮闘する乙畑行政区を取材。親子で地区内の川に生息する生き物を捕獲・調査した。自然破壊の危機にあるこの時代、生命の大切さを次世代を担う子供たちと一緒に感じさせてもらった。

⑫第40～48号 「元気のヒケツ」シリーズ

第48号では、長年、ソフトテニスの選手、体育協会長として活躍を続ける渡辺清二さんをインタビュー。以前からソフトテニスをしていることは知っていたが、素晴らしい戦績をあげていることや、いろいろな趣味(盆栽・ウォーキングほか)を持っていることを知り、改めてすごい人だと思った。

⑬第51号 矢板中央高校・野球部員による清掃活動

高校生たちのしっかりした考え、意見に感心した。先生方の教えや駅前交番のおまわりさんの暖かい見守りも大きいのだと感じる。せっかくある3つの高校生の力を上手に生かし、矢板発展の起爆剤となればいいなと思った。



矢板中央高校



矢板東高校



矢板高校



「岡目八目」シリーズ



恋クンを踊る



生き物調査

☆「市民力かわら版」の創刊号から最新号までは、矢板市ホームページで閲覧いただけます。ぜひご覧ください!!